



2014年11月11日

みなさん、こんにちは。

今回の「博物館だより」は、11月9日(日)に行われた、現在開催中の企画展「発掘された明石の歴史展～明石の古代Ⅱ～」の関連イベントで子ども歴史体験ワークショップ「拓本にチャレンジ！」の様子についてお伝えいたします。

歴史体験ワークショップ「拓本にチャレンジ！」

11月9日(日)に歴史体験ワークショップ「拓本にチャレンジ！」が行われました。今回は午前と午後の2回にわけて開催。親子での参加や友達同士での参加など様々な方に楽しんでもらいました。

まずは、学芸員より拓本とは何かという事を今回の併設開催中の「太寺廃寺と明石駅家」の展示を実際に見ながら解説。「発掘調査で出土した土器などの貴重な資料を汚すことなく、きれいに写し取ることができ、拓本にすることによってまた別の発見も見えてくることがある。」と聞き、参加者も納得していました。また、拓本の作り方を実演しながら模様をきれいに写すためのポイントなどを細かく説明。皆さんじっくりと集中して見ながら話を聞いていました。いよいよ好きな瓦を選んで拓本作りのスタート。色々な大きさ・模様の瓦をどれから使ってみるか、楽しそうに選んでいました。



最初は、紙を湿らせすぎて破れてしまったり、瓦と紙がずれたり、墨を付けすぎたりと、なかなか上手くできなかったのですが、学芸員からの適格なアドバイスもあり、きれいに拓本を作る事ができていました。中には、瓦の模様を組み合わせるオリジナルの拓本を作っている参加者もいました。たくさん作った拓本の中から、気に入ったものを選んで、オリジナルのブックカバーを作成。慎重に構図を考えてから貼る方や大胆に貼っていく方、友達と色違いのお揃いを作る方など、個性豊かで様々なブックカバーが完成。今回の展覧会ならではの、楽しい貴重な体験が出来たと思います。自作のブックカバーで、お気に入りの一冊を素敵に彩り、楽しい読書の秋を過ごして頂きたいです。



詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。
<http://www.akashimuseum.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。